

**令和5年第2回 岩沼市議会定例会
一般質問通告一覧表**

質問 順番	議席 番号	議員氏名	質問事項及びその要旨	答弁者
1	1	田 村 和 也	<p><u>小中学校の管理運営について</u></p> <p>1. 校内の安全管理について</p> <p>(1) 校庭について</p> <p>① 東京都杉並区で発生した校庭のクギ埋設問題に関して、本市における対応について伺う。</p> <p>② 遊具・樹木の安全点検の実施状況について伺う。</p> <p>③ サッカーゴールの転倒防止対策について伺う。</p> <p>④ その他の危険箇所の把握について伺う。</p> <p>(2) 校舎・体育館について</p> <p>① 窓や高所からの転落防止について伺う。</p> <p>② 危険箇所への立ち入り防止対策について伺う。</p> <p>(3) 熱中症対策について</p> <p>① 熱中症防止のための具体的指標について伺う。</p> <p>② 熱中症を早期に判断、対処するための知識、啓発について伺う。</p> <p>③ 発症時の対応マニュアルについて伺う。</p> <p>(4) 突発的な心停止について</p> <p>① A E D（自動体外式除細動器）の設置状況について伺う。</p> <p>② 使用講習会等の状況について伺う。</p> <p>③ 服を脱がせることに関する意識（ちゅうちよの有無）についてどのように考えているか伺う。</p> <p>2. 学校運営について</p> <p>(1) 制服について</p> <p>① 男女の制服選択制について伺う。</p> <p>(2) 性教育について</p> <p>① L G B T問題について伺う。</p> <p>② 性感染症に関する知識、啓発について伺う。</p> <p>③ 生理の貧困問題について伺う。</p> <p>(3) 特別授業について</p> <p>① 納税に関する特別授業等の実施状況について伺う。</p> <p>② その他外部からの指導について伺う。</p> <p>(4) プールについて</p>	教育長

(続)	1	田村和也	<p>① 授業数について伺う。</p> <p>② 夏季休業中の開放について伺う。</p> <p>③ 今後の利活用の方向性について伺う。</p> <p>(5) 給食について</p> <p>① 費用について伺う。</p> <p>② 食材選定と献立作成の方針等について伺う。</p> <p>③ 食用コオロギ問題（ドライクリケット）について見解を伺う。</p> <p>(6) 教職員の労働問題について</p> <p>① 教育長の労働時間について伺う。</p> <p>② 教職員の超過勤務実態について伺う。</p> <p>③ 労働時間短縮の対策と効果について伺う。</p> <p>(7) 虐待の発見、防止について</p> <p>① 虐待が疑われる場合の通報体制について伺う。</p> <p>② 学校で発見、通報した認知件数とその態様について伺う。</p> <p>③ 虐待が発見された場合のアフターフォロー体制について伺う。</p> <p>(8) 不審者への対策について</p> <p>① 学校周辺での不審者情報の共有について伺う。</p> <p>② 校内への不審者の侵入対策について伺う。</p>	教育長
2	7	高橋光孝	<p><u>ふるさと納税について</u></p> <p>1. ふるさと納税の現状について</p> <p>(1) 令和4年度の当市の返礼品の総数・登録事業所数を伺う。</p> <p>(2) 令和4年度の当市への寄付額を伺う。</p> <p>(3) 令和4年度の寄付額のうち、返礼品の購入費、ポータルサイトの掲載料、取次事業者の手数料などの経費について伺う。</p> <p>(4) 令和4年度に岩沼市民が他の自治体に寄付した額はいくらか伺う。</p> <p>(5) 令和4年度の当市のふるさと納税人気返礼品はどのようなものが多いのか伺う。</p> <p>2. ふるさと納税の今後の拡充について</p> <p>(1) これからのプロモーション方法を伺う。</p> <p>(2) 返礼品を扱う納税ポータルサイトの数を現在の6サイトから10サイト程度に増やす考えはないのか伺う。</p> <p>(3) ふるさと納税の魅力は返礼品によるものが多い</p>	市長

<p>(続)</p>	<p>7</p>	<p>高橋光孝</p>	<p>と考えられるが、返礼品の充実をどのように図っていくのか伺う。</p>	
			<p>森林環境譲与税について</p> <p>令和3年第1回定例会でも質問させていただいたが、森林経営管理制度と森林環境譲与税活用の進捗状況について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 森林経営管理制度の経営管理権集積計画の策定状況はどこまで進んでいるのか伺う。 2. 経営管理実施権の設定と森林管理事業による実施計画はどこまで進んでいるのか伺う。 3. 森林環境譲与税の森林経営管理制度の導入に向けた経費についても充当し、調査も進めていきたいとの答弁があったが、進捗状況を伺う。 4. 「森林環境譲与税だけでは森林整備には予算不足と考えられるが、岩沼市国土強靱化地域計画の予算と合わせて面として整備するような方法を考えてはどうか。」との質問に「国土強靱化の中でうまく運用していけないかどうか知恵を出していかないと進まない。」と答弁があったが、国土強靱化地域計画の中で運用できる方法はあったのか伺う。 	<p>市長</p>
<p>3</p>	<p>14</p>	<p>長田忠広</p>	<p>少子化対策について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 宮城県が実施する『みやぎ結婚支援センター「みやマリ！」』について <ol style="list-style-type: none"> (1) 市民への周知をどのようにしてきたか伺う。 (2) 利用登録の促進を図るため、入会登録料に対する助成制度を設けてはどうか伺う。 2. 結婚・出産支援について <ol style="list-style-type: none"> (1) 婚姻届や出生届の提出について <ol style="list-style-type: none"> ① 「オリジナル婚姻届」や「オリジナル出生届」を作成してはどうか伺う。 ② 「記念撮影スポット」の充実を図ってはどうか伺う。 (2) 国の「結婚新生活支援事業」を活用し、新婚世帯を支援してはどうか伺う。 (3) 新婚世帯等が市営住宅に入居しやすい環境づくりについて <ol style="list-style-type: none"> ① 抽選倍率の「優遇措置」の対象として新婚世帯も含めてはどうか伺う。 ② 裁量世帯の月収額を見直して、新婚世帯や子育て世帯において、259,000円以下に緩和しては 	<p>市長</p>

(続)	14	長田忠広	<p>どうか伺う。</p> <p>3. 子どもの貧困対策について</p> <p>(1) 現状をどのように捉えているか伺う。</p> <p>(2) 岩沼市で取り組んでいる施策を伺う。</p> <p>(3) 子ども貧困対策計画を策定してはどうか伺う。</p>	市長
			<p>誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策(COCOLOプラン)について</p> <p>1. 一人で悩みを抱え込まないための保護者への支援について</p> <p>教育委員会が、不登校の子どもの保護者であれば誰でも自由に参加できる「保護者の会」を設置し、そこに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーをコーディネーター役として派遣し、不登校の子どもの保護者を支援していくことが必要だと思うが、当市での取組を伺う。</p> <p>2. 多様な学びの場の確保について</p> <p>(1) 教室に行きづらくなった児童生徒が、学校内で落ち着いて学習できる環境である学び支援教室「ほっとルーム」を、市内全ての小中学校に設置する必要があると思うが、現在の設置状況と今後の取組について伺う。</p> <p>(2) 学校の授業を、不登校の子どもが通うHATCH（ハッチ）いわぬま、子どもの心のケアハウス「あいる一む」等に配信し、オンラインで指導できる体制を確立すべきだと思うが、現状と今後の取組について伺う。</p> <p>3. 不登校児童生徒の多様な学びの「成績評価」の確実な実施について</p> <p>国の「COCOLOプラン」で示されたように、不登校の生徒の高校進学を支援するため、学校外での“学び”を、確実に学校での成績に反映させることが重要であると思うが、当市の中学校における現状と今後の取組について伺う。</p>	市長 教育長
			<p>熱中症対策について</p> <p>1. 子どもの熱中症予防の取組について</p> <p>(1) 学校の教育現場における熱中症対策や判断の参考となるよう「学校における熱中症対策ガイドライン作成の手引き」の策定の現状と運用方法について伺う。</p> <p>(2) 学校現場外において、学校現場同様に児童生徒が適切な熱中症予防の行動を行うことができるよ</p>	市長 教育長

(続)	14	長田 忠 広	<p>う、関係者に対して周知の徹底を図ることが大切だが、当市の取組を伺う。</p> <p>2. 高齢者の熱中症予防の取組について</p> <p>(1) 高齢者に熱中症予防を呼びかけるリーフレット等を作成して、周知する必要があるが、当市の取組を伺う。</p> <p>(2) 地域包括支援センターや福祉等関係団体に対して、熱中症弱者の見守りや熱中症予防行動の呼びかけ活動が大切だが、当市の取組を伺う。</p> <p>(3) 暑さをしのげる公共施設についての取組を伺う。</p> <p>(4) 熱中症対策の1つとして、冷水機の設置があるが、公共施設に冷水機を順次設置してはどうか伺う。</p>	市 長 教育長
4	10	須藤 功	<p>電気料金高騰に伴う対応について</p> <p>1. 昨年3・4月の電気料金と比較し、今年ほどの程度変わっているか。</p> <p>2. 昨年12月定例会の補正予算審議で、電気代高騰を受け「民間のシビアさを参考に今後検討する。」と答弁された。各施設の電力使用対策をどのように検討されたか。</p> <p>3. 電力料金が下がることは現状で望めない。むしろ高騰するばかりと考えている。市役所庁舎はセントラル冷暖房の構造で熱効率が悪い。個別空調にしたこともあるので、各階に扉を設置し快適な構造にして熱効率を改善してはどうか。</p>	市 長
			<p>部活動の地域移行について</p> <p>1. 昨年12月の定例会で、地域移行に関し「休日の部活動をどうするか、4つの選択肢を準備し関係各所と話し合いを進める。」と答弁された。その進行状況について伺う。</p> <p>2. スポーツ庁及び文化庁から昨年12月に出された『学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン【概要】』、「Ⅱ 新たな地域クラブ活動」では、「学校部活動の維持が困難となる前に、学校と地域の連携・協働により生徒の活動の場として整備すべき新たな地域クラブの活動の在り方を示す。」と記載されている。市は具体的にどう関わろうとしているか。</p> <p>3. 同上「Ⅲ 学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた環境整備」では、「新たなスポ</p>	市 長 教育長

(続)	10	須藤 功	<p>ーツ・文化芸術環境の整備に当たり、多くの関係者が連携・協働して段階的・計画的に取り組むため、その進め方等について示す。」とある。市は具体的にどう関わろうとしているか。</p> <p>4. 公共施設利用の在り方は地域移行にとって使いづらいものがある。そこで次のことに関し変更する考えはあるか。</p> <p>(1) 陸上競技場は4月末まで午後5時で利用不可となる。4月は6時頃まで明るいので閉館時刻を変更してはどうか。また、11月以降も午後5時で閉館となるが、地域のクラブ活動は十分な練習を行うことができない状況にある。利用時間を延長できないか。</p> <p>(2) 多目的グラウンドは南部・北部と2分割して貸し出している。11月になると日没が早く真っ暗な状態になり、野球やサッカーはグラウンドを広く使用することが難しい状態である。夕方からでも2団体のみしか利用できないことになり、多くの方に利用してほしいと考える。11月以降は4分割にするなど貸し出し規則を変更してはどうか。</p> <p>(3) その他の施設において利用に関する変更を検討するのか伺う。</p>	市長 教育長
5	6	植田 美枝子	<p>子育て世代を増やす施策について</p> <p>1. 市営住宅について</p> <p>(1) 各市営住宅の築年数を伺う。</p> <p>(2) 各市営住宅の耐用年数を伺う。</p> <p>(3) 現在も、入居する時には浴槽設備を自分で設置して、退去する時は処分することとなっているのか伺う。</p> <p>(4) 若い世代、子育て世代が住みたくなるような住居にリノベーションしてはどうか伺う。</p> <p>(5) 市営住宅の利点は家賃が安いだけでなく、公園等の子ども達が遊べる場所が敷地内にあることだと思う。市営住宅を充実させることは、子育て世代を増やすのに役立つと思うがどうか。</p> <p>(6) 既にある物件を市営住宅として活用することで、安いコストで市営住宅を整備できると思うがどうか。</p> <p>(7) 京都市では、市営住宅の空き住戸をリノベーションして若者や子育て世代向けに活用する取組を今年の5月から開始する。空き住戸を不動産会社</p>	市長

<p>(続)</p>	<p>6</p>	<p>植 田 美枝子</p>	<p>などの民間事業者に貸し付け、若者が好むレイアウトにリノベーションした上で賃貸住宅として手頃な価格で貸し出すという事業だが、参考にしてはどうか。</p> <p>(8) 子育て世代を増やすための具体的な計画はあるのか。</p> <p>2. 県営住宅について</p> <p>(1) 令和4年12月現在、市営住宅の戸数は466戸、県営住宅は722戸であり、県営の方が多い。場所も亀塚住宅、相の原住宅、千貫住宅は駅から近く、買い物にも便利な場所であり、空けておくのはもったいない物件だと思う。空き住戸をリノベーションすることを県に提案してはどうか。</p>	<p>市 長</p>
			<p>裁判の結果を受けて</p> <p>1. 市と議会が議員から訴えられた裁判、裁判費用等について</p> <p>(1) 2件の裁判の最初から終わりまでで全部でいくらの費用がかかったのか。</p> <p>(2) 費用は全部、税金か。</p> <p>(3) 裁判の形式上、被告は市だが実質的な当事者は議会の議員であると思うがどうか。</p> <p>(4) 判決後、櫻井議長は「判決の趣旨を鑑み市議会の正常化に腐心してまいります」とコメントしている。市長として市議会の正常化のため何をすべきと思うか。</p> <p>(5) 裁判の判決が出て、それで終わりでは何も変わらないと思うがどうか。</p> <p>(6) この裁判で、全国に恥をさらした岩沼市になったが、どう捉えているか。</p> <p>(7) 新聞でも何度も取り上げられていて、市民の知るところだが、違法な懲罰が繰り返されたことで始まった裁判だと思う。 市民になぜこのような事態になったのかを説明しなければいけないと思うがどうか。</p> <p>(8) 第三者委員会を市長が立ち上げて検証し、市民に説明すべきと思うがどうか。</p>	<p>市 長</p>
<p>6</p>	<p>1 3</p>	<p>佐 藤 一 郎</p>	<p>中心市街地活性化について</p> <p>1. 長町駅、多賀城駅、本塩釜駅、名取駅周辺では開発が進み、魅力ある拠点整備が行われている。新総合計画においては、岩沼駅周辺の開発をどのように考えるのか伺う。</p>	<p>市 長</p>

(続)	1 3	佐藤 一郎	<p>(1) 近隣の駅周辺は新しい近代的な施設の整備が進んでいるが、岩沼の顔である岩沼駅前についてどのように考えているのか伺う。</p> <p>(2) 駅東側開発の今までの経緯について伺う。</p> <p>(3) 駅に接続する民間用地について、今後どのような計画があるのか調査をする必要があると思うが、考えを伺う。</p> <p>(4) 岩沼駅構内の未活用線路の今後の土地利用について、JRではどのように考えているのか調査をする必要があると思うが、考えを伺う。</p> <p>(5) 震災前に駅前交番の設置に向けた取組を進めていたが、今後の設置に向けた取組について伺う。</p> <p>2. 岩沼中央線（旧国道4号線）と駅前大通線の交差点に右折レーンが必要と思うが、設置してはどうか伺う。</p> <p>3. 中心市街地活性化には駅前周辺の開発が必要であると思う。民間との共同開発など、今後の駅前周辺の開発についてどのように考えているのか伺う。</p>	市長
7	1 1	渡辺 ふさ子	<p>高齢者等のごみ出し支援事業について</p> <p>1. 高齢者等ごみ出し支援事業について、市のホームページによると2020年8月18日更新日現在、ごみ出し支援を対象に活動団体を募集している。活動団体は町内会・自治会、町内会の班、地区の老人会・老人クラブなど地域に根付いた団体となっている。現在のごみ出し支援事業を開始したプロセスを伺う。</p> <p>2. これまで応募した団体は1団体と聞いているが、実績を伺う。</p> <p>3. 現状をどのように評価し、問題点をどう考えているのか伺う。</p> <p>4. 高齢化社会に向かって、ごみ出しは日常的な課題である。困っている市民のニーズを把握し、支援を拡充する対策が必要ではないか。</p> <p>5. 環境省は2021年3月に「どのようなことに留意して制度設計を行い、持続的に運用していくべきかを検討する際の参考となるよう、また、既に制度を導入している地方公共団体においても、課題の改善や支援制度の見直しにつながることを目的として」令和2年度「高齢者ごみ出し支援制度導入の手引き」を作成している。高齢者等を対象としたごみ出し支援制度の実態調査（アンケート）を行ってはどうか。</p>	市長 教育長

(続)	1 1	渡 辺 ふさ子	<p>6. 地域コミュニティによる互助任せでは、支援や実績報告書作成など、やる気のある団体でしか取り組めない。また、支援を受ける側にも遠慮してしまう面があるのではないかと考えるが、市の事業として行政が取組主体となって進めるべきではないか。</p>	市 長 教育長
			<p><u>パートナーシップ・ファミリーシップ制度の導入について</u></p> <p>1. 性的少数者のパートナー関係を公証する「パートナーシップ制度」を導入している自治体が増えている。225自治体（2022年7月末）のうち、42自治体が、カップルと生活をともにする未成年の子どもとの関係を証明する制度やサービスを取り入れている。2022年8月1日時点で制度の名称に「ファミリーシップ」を加えて、子どもを含めた家族関係を証明するのが30自治体。名称は「パートナーシップ」制度として、届け出により子どもの名前を受領証などに記載し、関係を証明する方法をとるのが12自治体。ファミリーシップ制度や子の名前の記載によって、医療機関や保育園などの場で、パートナー関係にある2人が保護者として認められることになる。</p> <p>また、パートナーシップ・ファミリーシップ制度を導入した盛岡市では事実婚だった異性同士が制度を利用したことが、東北で初のケースとして報道されている。</p> <p>性的少数者の困難や生きづらさの軽減につながるよう、互いに人権を尊重し多様性を認め合い、誰もが自分らしく生きることのできる社会を実現するために、県内一番で、「パートナーシップ・ファミリーシップ制度」を導入してはどうか。</p>	市 長
			<p><u>市長の政治姿勢、平和について</u></p> <p>1. 地方行政は住民福祉にあるとされ、地域住民の便宜にもっとも貢献するよう運営されねばならないと憲法に書かれている。住民福祉の行政の根本に「平和」であることが何よりと考えるが市長の見解を伺う。</p> <p>2. 今年も6月23日に原水爆禁止国民大行進が岩沼に入る。8月6日に日本の隅々から網の目のように幾つものコースに分かれて広島に集結する行進団の一つで66回目になる。佐藤淳一市長や歴代の多くの市長から温かいメッセージをいただいていると、平和行進の実行委員会から感謝の声が届いている。毎年</p>	市 長

(続)	1 1	渡 辺 ふさ子	<p>一步一步、歩いてきた運動が国連での核兵器禁止条約の採択につながったと考えるが、見解を伺う。</p> <p>3. 平和行進は多くの市民や事業者の賛同、協賛金で支えられ、被爆者の方たちの活動や行動の支えにもなっている。市長から今年から協賛金の協力はできませんとの回答があり、関係者からは失望の声が聞かれた。協賛できない理由を伺う。</p> <p>4. 被爆者の苦しみを二度と繰り返さないために、核兵器はなくすしかない。核兵器使用の威嚇や核兵器の配備に抗議し、核兵器の廃絶を要求し、政府に核兵器禁止条約の批准を求めていくべきと考えるが、見解を伺う。</p>	市 長
8	1 5	飯 塚 悦 男	<p>行政改革と住民自治について</p> <p>1. 行政改革行動計画（指針）の策定についてはどのように考えているか伺う。</p> <p>2. 新年度から組織改編で行政改革のスタートを切った。市長は2年間という期限を設けて取り組んでいくと述べられているが、どのような方法で検証を行うのか伺う。</p> <p>3. 行政改革を人口増施策にどのように生かすのか伺う。</p> <p>4. 住民が自らの暮らしを良くするため、住民と行政による協働のまちづくりを進める「小規模多機能自治」を取り入れている自治体があるが、市長の見解を伺う。</p>	市 長
9	3	大 村 晃 一	<p>公共施設の維持管理について</p> <p>1. 子育て関連施設について</p> <p>(1) 岩沼西子育て支援センターについて</p> <p>① 以前の一般質問でも触れたが、7月に開所予定となっている中で、最終的にどのような特色を持って開所を迎えるのか伺う。</p> <p>② スタートは市直轄の運営で開所が始まると思うが、将来的には民間への委託という方法も、行政にはないアイデアなどを生かした特色ある子育て支援センターになっていくための手法の一つと思うが、どのように考えるか伺う。</p> <p>③ 現在の駐車場スペースは併設する西児童センター分も兼ねており、職員なども駐車をしている状況となっている。利用を心待ちにしている方々からは、駐車場は足りるのかなどの声も聞こえてくるが、何らかの対応を考えているのか</p>	市 長 教育長

<p>(続)</p>	<p>3</p>	<p>大村晃一</p>	<p>伺う。</p> <p>(2) 放課後児童クラブについて</p> <p>① 西地区に増設される予定の放課後児童クラブについて</p> <p>ア どこに設置予定となるのか伺う。</p> <p>イ いつ頃の完成予定になるのか伺う。</p> <p>ウ 設置費用はどのくらいになるのか伺う。</p> <p>② 玉浦小学校の空き教室の活用の現状を伺う。</p> <p>③ 補助金などを活用して他の地区も増設などはできないのか伺う。</p> <p>(3) ハナトピア岩沼のリニューアル状況について</p> <p>① 以前の議員全員協議会での説明では、事業手法の検討として3つの方法が示され、その中から選択して進めて行きたいとの説明があったが、どの方法で進めて行く方向になったのか伺う。</p> <p>② 現在はどのような進行状況なのか伺う。</p> <p>2. 各種料金について</p> <p>(1) 電気料金について</p> <p>① 2月の予算審査特別委員会でも電気料金が上がることを想定して、各施設の予算を編成していた内容の説明もあった。節電対策なども行っているとは思いますが、4月、5月の電気料金は昨年度の同月比でどのくらいになっているのか伺う。</p> <p>② 今後も電気料金の基本料金等が上がることもあり、各施設の電気料金も上がってしまうと思うが、前年度比でどの程度上がると想定しているのか伺う。</p> <p>③ 節電対策として、電気料金が抑えられ、消耗までの期間も長いLED照明なども有効な手段として行政や民間、個人宅等で活用されているが、本市の施設における普及率を伺う。</p> <p>(2) 公共施設等使用料について</p> <p>① 他の自治体では、近年の物価高騰なども考慮した使用料の見直しを行っているところもある。本市においては、令和元年10月1日に改定を行い、4年ごとに見直しを図ることになっているが、どのような見直しがされているのか伺う。</p> <p>② 本市でも、中学校の部活動の地域移行が教育</p>	<p>市長 教育長</p>
------------	----------	-------------	---	-------------------

(続)	3	大村晃一	<p>の場で進んでいく中で、屋内外問わず地域の組織や団体が受け皿になっていただくことになると思うが、その場合の費用面の対応はどのように考えているか伺う。</p> <p>3. 公共施設利用と共催や後援の関わりについて</p> <p>(1) 公共の施設やスペースを活用して催し物を開催する場合、共催や後援を求められる場合もあると思うが、承諾の有無の判断基準はどのようになっているのかを伺う。</p>	市長 教育長
10	2	西塚秀市	<p>小中学校の給食費について</p> <p>1. 現在の給食費について</p> <p>(1) 小学校中学校の給食費について</p> <p>子育てをする現役世代にとっては何かとお金の心配が付きにくい社会となっており、今後も物価の高騰により給食費や学校の教材費なども高騰し、経済的負担が大きくなると考える。</p> <p>① 現在の小学校と中学校の1年間の給食費はどれくらいなのか伺う。</p> <p>② 現在の小学校と中学校の1食あたりの給食費はどのようになっているのか伺う。</p> <p>③ 原材料費の価格が上昇している中、給食費の補助について伺う。</p> <p>(2) 給食費無償化について</p> <p>新型コロナウイルス感染症による経済の悪化、物価高騰により、子育て世代の経済的負担も大きくなっている。給食費の無償化は、大阪を中心に始まり全国的にも給食費の無償化が進んでいる。</p> <p>県内でも今年度中に富谷市、気仙沼市、栗原市など10市町村が完全無償化し、また、4市町村が条件付き無償化を実現している。</p> <p>① 給食費の無償化について、どのように考えているのか。</p> <p>② 市として、給食費の無償化を考えるべきではないのか伺う。</p> <p>③ 給食費の完全無償化が難しいのであれば、条件付きの無償化などの考えはあるのか伺う。</p>	市長 教育長
			<p>岩沼市の身を切る改革について</p> <p>1. 議員定数と議員の報酬について</p> <p>(1) 超少子高齢・人口減少時代に突入した我が国において、地方財政の健全化は住民の豊かで持続可能な未来のために先送りできない問題である。私</p>	市長

<p>(続)</p>	<p>2</p>	<p>西 塚 秀 市</p>	<p>達日本維新の会はこれまで政治・経済・既得権の馴れ合い・ぬるま湯・もたれ合いで続けてきた古い政治を壊し、本気の改革を断行していくために、まずは政治家から自らの身を切る改革を断行し、政治そして市政に対する住民の信頼を取り戻すことに全力を傾けており、議員自ら襟を正し、議員自らの身を切る事が必要だと感じている。</p> <p>令和4年度岩沼市議会議員補欠選挙では、4人が立候補し無投票となったが、このまま行けば議員のなり手不足の原因にもつながってくる現状だと考えている。</p> <p>そこで、今後の岩沼市議会議員の定数について伺う。</p> <p>① 前回の議員定数の削減については平成24年6月に21人から18人に定数が削減されました、その後議員定数に関する会議なども開いていないようですが、定期的に見直す委員会等はあるのか伺う。</p> <p>② このままで人口減少時代を迎えるのであれば、議員のなり手は減少する方向に行くと思うが、そこで今回議員定数を現在の18人から16人等に削減することについて提案する考えはないか伺う。</p> <p>(2) 議員報酬等のあり方について</p> <p>近年、地方議員のなり手不足で定員割れが地方議員の問題とされているが、その問題の1つとして議員報酬だけでは生活ができないとの問題が出ている。都市部の議員であれば生活はできると思うが、地方議員は生活ができず、議員のなり手不足につながっていると考えられる。</p> <p>① 岩沼市議会議員報酬額は適正と考えているか伺う。</p>	<p>市 長</p>
<p>市議会議員の裁判の判決と裁判費用について</p>			<p>市 長</p>	
<p>1. 今回の市議会議員裁判の判決と裁判費用について 今回の裁判で判決が決定したが、裁判費用について伺う。</p> <p>(1) 裁判費用、着手金などが必要だったと思うが、その費用についてどれくらいの費用を市側が支払いしたのか。</p> <p>(2) その費用を市の税金から出したのであれば、市長が責任を取らなければならないと思うがどう</p>			<p>市 長</p>	

<p>(続)</p>	<p>2</p>	<p>西塚秀市</p>	<p>か。</p> <p>(3) 今後の岩沼市長としての考えを伺う。</p> <p>防災、防犯について</p> <p>1. 最近、岩沼市内で刃物のような物を持った不審者の情報や小学校に侵入し運動着などを盗むという事件などが多発しております。</p> <p>不審者の情報等に関しては情報収集が困難なため、犯人逮捕等にはつながりにくい状況だと思っている。</p> <p>(1) 今回の小学校の不審者の侵入は決して許されるものではないと思う。これがもし日中の授業中であつたならば最悪の事態に発展する状況だつたと思う。</p> <p>① 市内小学校、中学校の防犯対策についてどのような対策をしているのか伺う。</p> <p>② 防犯カメラの取付け状況について伺う。</p> <p>③ 各小学校、中学校には不審者の侵入防止などに関して校庭の外をフェンスで囲う、門を閉めるなどのセキュリティ対策はどのようにしているのか伺う。</p> <p>④ 今後防犯対策として、フェンスの増設や防犯カメラなどを増やすなどの強化が必要だと思うが、今後の対応について伺う。</p> <p>(2) 安心安全な街づくりについて伺います。岩沼市では各町内会に防犯カメラの設置に関する補助金を出しているようだが、設置金額が高額なため、また各町内会、行政区の防犯カメラの設置には映像内に映る全家庭に同意書を取らなくてはならない規定がハードルとなっており、なかなか防犯カメラの設置にはいかないようである。</p> <p>① 岩沼市の防犯カメラの設置数はどれくらいあるのか。</p> <p>② 各町内会で補助金使用による防犯カメラを設置している町内会または行政区はあるのか伺う。</p> <p>③ 岩沼市でもメインの道路に独自に防犯カメラを設置してはどうか伺う。</p>	<p>市長 教育長</p>
<p>11</p>	<p>9</p>	<p>布田恵美</p>	<p>投票率向上に向けた施策について</p> <p>1. これまでに投票率向上に向けた施策について一般質問でも取り上げ、提言を重ねてきた。今年は秋の宮城県議会議員選挙、暮れの市議会議員選挙も予定</p>	

<p>(続)</p>	<p>9</p>	<p>布田 恵美</p>	<p>されていることから、それらへの取組や進展についてあらためて問う。</p> <p>(1) 投票率の低下は民主主義の根幹を揺るがす問題だと受け止めてもいる。その点について、どのように考えているのか。</p> <p>(2) 期日前投票所の増設について</p> <p>① 2019年9月定例会での一般質問において「従来のように、有権者の来場を待つ投票所から、有権者がいるところに出向く投票所への発想の転換を」と求めてきた。当時は、「システム開発費や通信設備の整備を初め、高額な費用がかかることから仮設の投票所設置は困難」との答弁であった。その後、地域においては高齢化がますます進んでおり、この間、西部地区には岩沼西コミュニティセンターも開所している。期日前投票所の増設を考えてはどうか。</p> <p>② 期日前投票所の複数設置は公職選挙法の改正により可能になっている。投票所へのアクセス向上が投票率向上につながる可能性もあるのではないか。例えば玉浦コミュニティセンターや岩沼西コミュニティセンターに期日前投票所を設置することにより、自家用車などの移動手段を持たない方でも徒歩や自転車で期日前投票所に向かい、投票を果たすことにもつながると思われるが、いかがか。</p> <p>2. 岩沼駅前広場やショッピングセンターなどへの投票所設置について</p> <p>(1) 以前の一般質問時での仮設投票所設置提案への答弁では、「二重投票の防止をどのようにするか」ということと、「オンラインで仮設の投票所と選挙管理委員会を結ぶことが困難」など複数の課題を挙げていた。この間、庁舎のデジタル化も進んでおり、仮設投票所設置も可能になっているのではないか。考えを伺う。</p> <p>(2) 選挙管理委員会の会議ではその点の議論はなされていないのか。</p> <p>(3) 通勤・通学の投票や若年層の投票率向上のためにもJR岩沼駅前広場を活用して仮設投票所を設置することを考えてはどうか。</p> <p>3. 投票率向上への取組とし、投票に関する情報提供の充実、投票所のアクセスの向上、対象者への投票</p>	<p>市長 教育長 選挙管理委員会委員長</p>
------------	----------	--------------	---	----------------------------------

(続)	9	布田 恵美	<p>の重要性のアピール、投票の手軽さの確保、の4点が挙げられる。2022年9月の一般質問でも投票に関する情報提供の充実としてのポスター掲示場の一覧表と符号するナンバリングを提案してきたが、進捗はいかがか。</p> <p>4. 今後の投票率向上のための方策について考えていることはあるのか。</p>	市長 教育長 選挙管理委員会委員長
			<p>ふれあいパトロールの今後の在り方について</p> <p>1. 市民提案で始まった、ふれあいパトロール事業も早20年を迎えようとしている。市民ボランティアによる子ども等の登下校時の見守り活動として大変素晴らしい活動が続いていると受け止めている。</p> <p>(1) 始まって長く続いていることから、活動に関わるボランティアの高齢化やスタッフ数の減少などの課題も聞く。</p> <p>① 現状をどのように受け止めているのか伺う。</p> <p>② 今後の活動のあり方として考えていることはあるのか伺う。</p> <p>(2) 2015年6月議会においての一般質問で、(仮称)ワンワンパトロール隊の結成について提案したこともあった。現在、全国各地でワンワンパトロール隊の活動は展開されている。愛犬の散歩と共に地域の見守りを行う活動も取り入れてはどうか伺う。</p>	市長 教育長
12	4	高梨 明美	<p>自転車の安全利用の促進について</p> <p>本年4月1日より道路交通法が改正され、自転車のヘルメット着用が努力義務化された。先に行われた春の全国交通安全運動では、重点項目に自転車のヘルメット着用を掲げ、推進が行われた。また、本市においては、4月2日に交通死亡事故ゼロ1年を達成し、市長は「これからも、交通事故防止と交通死亡事故の根絶に向けた取組を一層推進します。」と話されている。</p> <p>宮城県では、過去5年間(平成29年～令和3年)の自転車乗車中の交通事故で亡くなられた方の約6割が頭部に致命傷を負っており、命を守るためにヘルメット着用を早く普及させる必要がある、と促している。</p> <p>1. 本市のヘルメット着用の状況と着用促進の取組を伺う。</p> <p>2. まずは、市職員の着用の促進を図ってはどうか伺う。</p> <p>3. 物価高騰の折、命を守る自転車用ヘルメットを早</p>	市長

<p>(続)</p>	<p>4</p>	<p>高 梨 明 美</p>	<p>く普及させるためにもヘルメット購入費用の助成をしてはどうか伺う。</p> <p>4. 自動車運転免許証を返納した方へ、希望に応じて自転車用ヘルメットをプレゼントしてはどうか伺う。</p> <p>5. 宮城県では、自転車安全利用条例が制定されたことにより、令和3年4月1日から、自転車損害賠償保険等への加入が義務となっている。</p> <p>(1) 条例施行以降の本市における保険加入促進の取組を伺う。</p> <p>(2) ヘルメット着用促進の取組と並行して保険加入の促進も積極的に行うべきと考えるがどうか伺う。</p>	<p>市 長</p>
			<p><u>ICTの活用について</u></p> <p>1. 道路や公園遊具の破損などの情報通報システムについて</p> <p>(1) 本市の道路等の不具合の把握方法と課題を伺う。</p> <p>(2) スマホのアプリを活用して市民に直接通報してもらうことにより迅速な情報収集がしやすくなり、さらに早期の問題解決につながると考えられる。アプリを活用した通報システムを導入してはどうか伺う。</p> <p>2. 防災アプリの導入について</p> <p>(1) 現在の防災情報の提供方法について伺う。</p> <p>(2) 避難所の利用状況や周辺の冠水状況をお知らせする防災アプリの導入について、昨年9月定例会の同僚議員の一般質問で検討するとの答弁があったが、進捗状況を伺う。</p> <p>(3) 市民がわかりやすいように市の防災情報を一つにまとめたアプリを導入してはどうか伺う。</p>	<p>市 長</p>
<p>1 3</p>	<p>1 7</p>	<p>酒 井 信 幸</p>	<p><u>休日の部活動地域移行について</u></p> <p>1. スポーツ庁は昨年まで、速やかに部活動改革に取り組む必要があるとしていたが、段階的に取り組むようにするとして、地域移行のスピードがトーンダウンしたと思うが、市としてどのように捉えているか。また、それにより岩沼市の部活動地域移行の考え方も変わったのか伺う。</p> <p>2. 休日の部活動の地域移行における、保護者等への説明会の開催について</p> <p>(1) これまで保護者への説明会を何回開催したのか</p>	<p>市 長 教育長</p>

<p>(続)</p>	<p>17</p>	<p>酒井信幸</p>	<p>伺う。</p> <p>(2) これまで関係団体との話し合いを何回開催したのか伺う。</p> <p>(3) 教職員への説明をどのように行ってきたのか伺う。</p> <p>(4) 関係団体との話し合いを今後どのように行うのか伺う。</p> <p>3. 令和4年11月に公開したオンデマンド説明動画について</p> <p>(1) なぜオンデマンド説明動画としたのか伺う。</p> <p>(2) 説明動画の公開をどのように周知したのか伺う。</p> <p>(3) 説明動画を何人視聴したのか伺う。</p> <p>(4) 説明動画を公開し、何件の問合せがあったのか伺う。</p> <p>(5) 説明動画の中で、令和4年度市内4中学校の運動部活動部員数一覧があったが、令和5年度になり運動部活動部員数についての調査を行ったのか伺う。</p> <p>4. 運動部活動の地域移行モデル「いわぬまモデル」の準備について</p> <p>(1) いわぬまモデルの作成と関係団体への周知は、どのように行うのか伺う。</p> <p>(2) 事業に関する委託内容の整理について伺う。</p> <p>(3) 各団体へ指導者を派遣するためのコーチバンクの作成について伺う。</p> <p>(4) 各団体が学校開放制度を利用できるための整理について伺う。</p> <p>(5) 教職員の兼職兼業の整理について伺う。</p> <p>(6) 国や県の施策との連携について伺う。</p> <p>5. 運動部活動の地域移行の実施種目について</p> <p>(1) 今年度実施された種目はあるのか。</p> <p>(2) いわぬまモデルでは、保護者と生徒が相談して団体を組織して活動することやスポーツ教室やスポーツ少年団等に参加するとあるが、教育委員会や中学校教員はこの件について携わらないのか伺う。</p> <p>(3) 災害共済給付制度の適用について伺う。</p> <p>6. 文化部活動の地域移行について</p> <p>(1) 現在、文化部活動の地域での指導は何種目行っているのか伺う。</p>	<p>市長 教育長</p>
------------	-----------	-------------	---	-------------------

(続)	17	酒井信幸	<p>(2) 今後文化部の活動をどのように地域へ移行していくのか考えを伺う。</p> <p>7. 今後のスケジュールについて</p> <p>(1) スケジュールでは令和5年5月にいわぬまモデルを実施するとあるが、進捗状況について伺う。</p> <p>(2) 令和5年度から7年度までの3年間で、地域移行しやすい種目から段階的に実施するとしているが達成可能なのか伺う。</p>	市長 教育長
14	8	大友健	<p><u>議会の懲罰、仙台地裁の違法判決2件について</u></p> <p>1. 議会が違法行為をしたことをどう見るか。</p> <p>2. 多数決が必ずしも正しくないこともあると認めるか。</p> <p>3. 市長は当事者でもあったが、市民にどう説明するか。</p> <p>4. 市長が議決を求める議会が違法議会がいいのか。</p> <p>5. 議会不要論に拍車がかかる恐れはないか。</p> <p>6. こんな議会なら要らないのではないか。</p> <p>7. 議員定数半減条例を提案する考えはないか。</p> <p>8. 首長こそが議会改革をできるという認識はあるか。</p>	市長